

# 茨城県立水戸高等特別支援学校 キャリア教育全体計画

## 【教育目標】

社会的・職業的自立に向けた教育により働き続ける力を培うとともに、様々な体験活動に挑戦することを通して自己肯定感・協調性を育み、社会に貢献する人材の育成を目指す。

### － 目指す生徒像 －

- (1) 自ら考え、主体的に行動し、正しい判断ができる生徒
- (2) 常に向上心を持ち、自己の目標や夢に挑戦し続ける生徒

## 【キャリア教育全体目標】

地域社会における自己の役割や責任を果たしながら、自分らしく生きていく人材の育成

## 【各学年におけるキャリア教育目標】

### 【第1学年】

- (1) 社会的・職業的自立に向け、基本的な生活習慣（生活リズム、身辺自立など）の確立を図る。
- (2) 自己の障害特性や心身の状態（性格など）などを振り返り、自己理解を図る。
- (3) 集団における一つ一つの役割の大切さへの気づきや、責任感の芽生えを促す。

### 【第2学年】

- (1) よりよい進路選択ができるよう、自分の考えを正確に伝えたり、自分とは異なる意見を受け入れたりする態度の育成を図る。
- (2) 自己の障害特性の改善や克服に向けて、必要となる支援（合理的配慮）について理解を深める。
- (3) 課題や困難に直面した際、自ら報告や連絡、相談をするなどの解決方法や手段への理解を促す。

### 【第3学年】

- (1) 卒業後の社会生活に向けて、自己の適性を踏まえた進路選択や決定を支援する。
- (2) 課題や困難な事柄に対し、適切な方法を用いて主体的に解決しようとする態度の涵養を図る。
- (3) 地域社会において、自身が次代の社会の担い手であるという自覚を促す。

## 【キャリア発達を促すために育てたい能力や態度（基礎的・汎用的能力）】

自己理解・自己管理能力

人間関係形成・社会形成能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

## キャリア形成支援に向けた組織的・体系的な取組及び校内支援体制

### 系統的な進路指導の各段階におけるコンセプト

#### 第1学年

##### 【経験と職業選択の幅を広げる】

校内及び現場実習（デュアルシステム型、短期集中型）をとおして、希望する業種を体験するとともに、「働く」ことへの理解を深める。

#### 第2学年

##### 【適性を見極める】

第1学年時の経験を踏まえつつ、居住地における現場実習（年/2回）をとおして、自己の適性について見極める。

#### 第3学年

##### 【進路決定を目指す】

これまでの経験を基にして、業種や職種を焦点化した現場実習を行い、進路決定を目指す。

【総合支援部】【生徒指導部】予防的・開発的な生徒指導

【寄宿舎】生活スキルの習得及び基本的生活習慣の確立

### 【専門教科】

将来的な自立と社会参加を目指し、働き続けるために必要な態度や専門的な技術を習得するための学習（4系統8コースを設置）

【「働く」基礎を学ぶ学習】クリーニング・ソーイング・グリーンサービス・フードデザイン・ウッドクラフト・メタルデザイン・ビルメンテナンス・総合サービス

1年生は、8コース全てを体験する。（適性や興味・関心への気づき）

2年生以降は特定のコースに所属し、「働く」ために必要な態度や技術の習得を目指しつつ、KOUTOKU マルシェや近隣施設での清掃活動などとおして、地域社会とのつながりについて学習を深める。

### 【特別活動及びその他】

生徒相互の連帯感及び集団への所属意識を育てるための学習  
・委員会活動  
・学級づくり  
・部活動（各種大会への参加）  
など

### 【各教科】

各教科横断的な視点で、次代の社会を形成することに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための学習

国語・社会・数学・理科・英語・音楽・美術・  
保健体育・家庭・情報・職業（専門教科）

### 【総合的な探究の時間】

他者との連携を図りながら、主体的に課題を解決しようとする態度を涵養するための学習  
・学校行事  
・地域交流  
など

### 【自立活動（ジョブスタディ）】

自立活動と道徳の内容を踏まえ、生徒一人一人の障害による困難さを改善・克服するための学習に取り組んだり、働き続けるために必要な社会生活上のマナーや接遇について体験的に学習したりする。

## 【キャリア教育を推進するための重点施策（キーワード）】

連携（保護者・地域社会・就労に向けた事業所・関係機関）

個々のキャリア形成（キャリア・パスポートの活用）